北海商科大学　講義概要（シラバス）

2026年度

科目名	コマース研究ゼミナールⅠ	科目コード	1209	単位数	2
担当者名	竹野　学	開講セメスター	第4セメスター	開講年次	2年次
授業の方法	演習	到達目標	G,H	実務経験	無
ナンバリング	HSe401	※DP（ディプロマポリシー）と到達目標の関連性については、カリキュラムマップ参照			

授業のねらい

ゼミでは文献の輪読を通じて、下の到達目標に掲げたような、文系の大学生として最低限身につけておくべき技術の習得をめざします。

今期は、商学部の学生として身につけておくべき社会科学の素養を涵養するため、農業は人間の生命を支えてきたという観点から、日本の食と農はどこに向かうのかに基づいて、下記のテキストの輪読を行います。それを受けて各自の関心に応じて、農業と人口の関わりについて各自で考えたことを発表してください。　そして、その調査学習の結果をプレゼンテーションという形で発表してもらいます。

到達目標

1．著者の伝えたいことを正確に読取ることができる。
2．読んだ文章を的確に要約して文章化することができる。
3．自分の考えを口頭や文章で他人に伝えることができる。
4．問題を発見し、その解決に必要な情報を収集・分析・整理しその問題を確実に解決できる。
5．多文化・異文化に関する知識の理解を養う。

授業内容

1週目 打ち合わせ―ゼミの進め方の説明、報告順の決定と文献の調べ方の解説
2週目 学習のための基本的技術の確認（読書法、資料調査法、レジュメ作成法など）
3週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』を読む前の予備的知識
4週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』はじめに輪読
5週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第1章前半輪読
6週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第1章後半輪読
7週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第2章前半輪読
8週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第2章後半輪読
9週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第3章前半輪読
10週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第3章後半輪読
11週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第4章前半輪読
12週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第4章後半輪読
13週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第5章前半輪読
14週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』第5章後半輪読
15週目 『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』おわりに輪読
16週目 全体のまとめ＋フィードバック（但し、やむを得ず、15週目までの授業内容を実施出来なかった場合は、補講授業を行う）。

準備学修（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間

1週目は輪読の担当箇所を決めますので、必ずテキストを持参してください。

報告者は報告に向けてテキストを精読し内容を簡潔にまとめ、関連文献の調査などの準備を行ってください。また、参加メンバーはテキストを読んで、質問事項や議論すべき内容を各自で考えてきてください（所要時間１～２時間）。また、当日の議論で疑問が出た点や不明のままに終わった点などの調査・確認を復習として行ってください（所要時間1時間程度）。

以上を通じて受講生各自が関心を持った身近なモノに関するテーマについての調査学習の成果を、ゼミの後半期間に発表してもらいます。

成績評価の方法・基準

報告の内容（50%）、討論への参加（50%）などで総合的に評価します。やむをえず欠席する場合は、必ず事前に連絡してください。

履修上の留意点

毎回の報告者を決めて、報告者にレジュメの作成と報告をしてもらい、それをもとにして全員で議論をします。そのため、全員が毎回必ずテキストを読むことがゼミに参加するための前提となりますし、遅刻や無断欠席は厳禁です。

また期末の課題などは課しません。毎回のゼミの参加状況で評価がなされます。

課題に対するフィードバックの方法

提出課題やゼミ中に提示された疑問・質問などでゼミ時間内に対応できなかった事柄については、ゼミ中もしくはLMSを利用して全員ないし個人にフィードバックを行います。

テキスト

鈴木宣弘『世界一わかりやすい　日本の農業の教科書』平凡社新書、2026年8月13日発売予定、1,210円（本体1,100円＋税）、ISBN：978458286112 9

参考書

ほか各回のゼミ内容に関連する論文・記事などその都度指示、ないしコピーを配布します。

更新日付

2026/07/30 03:54